

学級活動（２）指導案

あさひ子学級 2組 7名 指導者 谷口 誠二

○ 本実践は、以下の検証を行うものである。

歯の磨き方を向上させるために、指導されている正しい歯の磨き方と、実際の歯の磨き方を比較し、改善点を自己決定させることで、正しい歯の磨き方を身に付けることができたか。

1 題材名 ていねいな歯みがき（学級活動（２）－カ）

2 子どもの実態

	A児(1年男)	B児(2年男)	C児(3年男)	D児(3年女)	E児(4年男)	F児(5年女)
わかりの特性	見通しをもたせると次の行動に移しやすくなる。	聴覚情報を繰り返すことで行動に移すことができる。	カードを使って見通しをもたせることで自分で次の行動に移すことができる。	見通しをもたせると自分で次の行動に移すことができる。	見通しをもたせることで次の行動に自分で移すことができる。	定期的な励ましで短期的に集中力を発揮することができる。
歯磨きの実態	教師の言葉掛けである程度歯磨きをすることができる。	教師の言葉掛けで一定時間歯磨きをすることができる。	食後、一定時間自分で歯磨きをすることができる。	教師の言葉掛けがあれば歯磨きをすることができる。	食後、歯磨きをすることができる。	食後、一定時間歯磨きをすることができる。

3 題材について

丁寧に歯磨きをすることは、むし歯を予防するだけでなく、健康な体づくりへの土台となる。また、健康な体をつくることは、自分の成長にとってよいことであると同時に、自分の親や身の回りの大人の願いである。その願いに子どもが気付くことは、自分が大切にされていることに気付くことであり、自己効力感の高まりにつながると思う。

そこで本題材では、歯を磨く時と磨かない時の違いを比較する活動を通して、歯磨きが歯に与える影響を考えさせたい。また、丁寧に歯磨きをすることが、自分にとってどのようなよさがあるかを考えることで、子ども自らが歯磨きに取り組みたいという思いをもつことができるようにする。このような学習を通して、歯磨きの習慣が身に付くのではないかと考え、本題材を設定した。

4 指導に当たって

これまで、給食指導を通して、歯磨きをすることの大切さについては繰り返し指導してきている。しかし、自分から歯磨きに取り組んだり、時間を掛けて丁寧に歯磨きをしたりする姿はなかなか見られない。言葉を掛けられないと取り組めなかったり、歯磨きをしても歯ブラシをくわえているだけや短時間で終わったりと、形式的な取組になっている。これは、歯磨きの大切さについて自分のこととして十分に納得していないことが原因として考えられる。そこで、指導に当たっては、これまでの歯磨きの様子を映像で確認し、自分の磨き方を客観的に見るができるようにしたい。

そのために、まず、事前の活動で、歯磨きをしている子どもたちの様子や、どんなことに気を付けて歯を磨いているかインタビューをしているところをVTRに記録し、自分の姿を振り返る活動を取り入れた。そして、**本時の導入段階で、VTRを見て、自分の姿や丁寧な歯磨きの仕方について考えていくことで課題意識をもたせる。**

次に、歯磨きをすることが自分にとって大切だという必要感をもたせるようにしたい。そのために、**役割演技をすることで、歯磨きをする時としない時では、歯に与える影響にどのような違いがあるかを考えさせ、自分はどちらの姿になりたいかも考えさせる。その後、自分が選んだ姿に近づくためにどのようなことを頑張ればよいかを自己決定させる。**さらに、丁寧に歯を磨くことを自分の親が願っていることを知らせるために保護者からのメッセージを準備し、終末段階で子どもたちに伝えたい。事後の活動では、指導し、自己決定したことが実践できているかどうか、本時で作成したカードを活用し、給食後の歯磨きの姿を振り返らせたい。また、連絡帳を通して、学校での取組の様子や家庭での取組の様子を学校と家庭でお互いに知らせていくようにする。これを繰り返すことで、行動の変容につながるのではないかと考える。

5 評価規準

○ 歯磨きに関心を持ち、歯を磨く大切さを考えようとしている。

【集団活動や生活への関心・意欲・態度】

○ 自分にあつた、歯磨きで気を付けることを選び、カードにまとめ歯磨きをしている。

【集団の一員としての思考・判断・実践】

○ 歯磨きが大切な理由や自分の健康を願う親の思いを理解している。

【集団活動や生活についての知識・理解】

6 活動の流れ

	期日	活動内容	教師の手立て	めざす子どもの姿と評価方法
事前	5/7~11	1 歯磨きをしているときに気を付けていることを考える。	○ 歯磨きをしている姿や歯磨きをするときに気を付けていることをインタビューし、VTRに記録する。	思 歯磨きをしているときに気を付けていることを、言葉に出して表現している。 〈観 察〉
本時	5/18	1 歯磨きをする時としない時の歯に与える影響について考え、歯磨きの大切さについて知る。 2 今後取り組んでいくことを自己決定する。	○ 歯磨きの大切さを考え、自分にとって歯磨きをすることが必要だということに気付くことができるようにする。 ○ 学習した事と自らの姿を比較し、自分の課題に気付いた上で、それをどのように改善していくか自己決定する。	知 歯磨きの際の正しい磨き方やそれが自分に与える影響について理解している。〈発言〉 思 なぜ丁寧に歯磨きをすることが大切なのか、考えている。 〈観 察〉 関 これから、丁寧に歯磨きをしていこうという意欲をもつことができている。 〈発言、カード〉
事後	5/21~6/4	1 自己決定した事を実践する。	○ 作成したカードを手洗い場に掲示し、歯磨きをするときに常に見ることができるようにする。 ○ 丁寧に歯磨きをしている子どもを称賛し、写真で実践の様子を振り返ることができるようにする。 ○ 連絡帳を使って、子どもたちの学校での取組の様子や家庭での取組の様子を伝え合う。	思 自己決定したことを実践している。 〈行動、写真、日記、連絡帳〉

7 本時の活動

(1) 目 標

歯磨きの大切さを知り、自分の健康を願う親の思いや自分のよさに気付き、丁寧に歯を磨こうとする意識を高める。

(2) 評価規準

A児	B児	C児	D児	E児	F児
出てきた意見の中から教師と一緒にこれからの歯磨きの仕方を選ぶことができたか。	出てきた意見の中から自分でこれからの歯磨きの仕方を選ぶことができたか。	教師と一緒にこれからの歯磨きの仕方考えることができたか。	これからの歯磨きの仕方を自分で決めることができたか。	これからの歯磨きの仕方を自分で考えることができたか。	これからの歯磨きの仕方を自分で考えることができたか。
【思考・判断・実践】	【思考・判断・実践】	【思考・判断・実践】	【思考・判断・実践】	【思考・判断・実践】	【思考・判断・実践】

(3) 指導に当たって

指導に当たっては、まず、事前に撮影した歯磨きの様子やインタビューの映像を見せて、自分たちの実際の姿を振り返ると共に歯磨きの大切さを意識せずに行っていることに気付かせたい。

次に、歯磨きをしなかった場合とした場合の歯への影響について役割演技を通して比較し、そこからどうして歯磨きが大切なのかを考えさせ歯磨きの必要感を感じさせたい。ここでは、自分はどちらの姿になりたいかを考えさせることで、自分の課題として捉えることができるようにする。

最後に、自分が選んだ姿に近づくために頑張ることを自己決定させていく。決定する内容については、友達の多様な考えや担任からの願いを示し、その中から選ぶこともできるようにする。更に、自己決定

したことに対して、家族からの応援メッセージを紹介し、実践への意欲を向上させる。こうすることで、子どもが自ら歯の大切さを考え、歯磨きすることができ、より望ましい歯磨きの仕方を身に付けることができるのではないかと考えた。

(4) 本時の展開

時間	活動内容	予想される子どもの意識	○手立て □めざす子どもの姿
10分	<p>振り返る</p> <p>1 普段の歯磨きの様子を写したVTRを視聴する。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・急いで磨いている。 ・歯ブラシをくわえながら歩いているぞ。 ・何も考えていなかったよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の普段の歯磨きを振り返りやすいように歯磨きをしている様子やインタビューしたことをVTRに記録し、視聴する。 ○ 視聴する視点を伝えることで、自分達の姿を捉えやすいようにする。 ○ 視聴したVTRから本時のめあてについて確認をする。
	<p>3 学習の流れを確認する。</p> <p>必要性</p> <p>4 役割演技を通して歯磨きの大切さについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日はこんな学習をするんだな。 ・歯磨きをすると食べ物の残りがなくなる。 ・歯磨きをすれば歯がぴかぴかになる。 ・歯磨きをしないとむし歯になる。 ・歯磨きをしないと口がくさくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の見通しをもてるように、学習の流れを提示し確認をする。 ○ 子ども自身が、歯磨きをしたときとしなかったときの役割演技をすることで、歯磨きが必要なことに気付くことができるようにする。 ○ 動きのある活動を意図的に取り入れることで、授業に継続して取り組むことができるようにする。
25分	<p>解決法</p> <p>5 これから取り組んでいく歯の磨き方について、自己決定をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1本1本の歯を丁寧にみがいていかないといけないな。 ・磨く順番を決めてやらないといけないな。 ・鏡を見ながら歯を磨こう。 ・決めたことを、これから確かめながら実践していこう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歯の磨き方について自己決定の材料になるポイントを提示する。 ○ 自己決定をより自分自身のこととして捉えることができるように頑張りたいことを自分で選び、自分で掲示できるようにする。 ○ 【思】 自分の取り組む歯磨きの仕方を、自己決定しようとしている。 〈 観 察 〉
	<p>6 家族からのメッセージを視聴する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お母さんやお父さんも僕たちが歯磨きを頑張ることを応援しているんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家族の自分に対する思いを知り、歯磨きの意欲を高めることができるようにする。 ○ 家族の思いをキーワードで示すことで、思いを確認することができるようにする。
10分	<p>7 実際に3分間歯をみがく。</p> <p>8 歯磨きカードにシールを貼る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3分間って長いな。 ・ぴかぴかになったぞ。 ・明日からもシールがもらえるように頑張るぞ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3分間を視覚的に捉えることができるように、砂時計を使う。 ○ 自分でシールを貼ることで達成感を味わうことができるようにする。